

宇多津古街

宇多津は室町時代（1336 年～1573 年）以降、港町として栄えてきました。町役場の南側にある旧町の一部は古街と呼ばれ、多くの歴史ある神社仏閣と伝統的な商人の家屋（町家）が今でも通り沿いに並んでいます。細長い町家は幅の狭い玄関が特徴的で、主に 1800 年代の半ば以降に建てられました。あちらこちらにあるそれよりも新しい洋風の建物と融合しています。古街にある 9 つのお寺のうち、最も有名なのは、四国八十八カ所霊場の第 78 番札所である郷照寺です。宗教施設として他にも有名なのは、1,200 年以上の歴史を持つ神社である宇夫階神社です。古街の散策には徒歩が最適で、途中、おはぎ（もち米とあんこを使って作られる甘い食べ物）を販売している老舗に 1、2 回立ち寄ることもできます。毎年 3 月には雛祭り（人形の祭り）が開催され、この界限を多くの人が訪れます。